



1 授業のねらい（主に身につけて欲しい力）

- ・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- ・ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。
- ・ 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 授業の進め方

- (1)課題を提示し、自ら考えたり他者の考えに触れて考えを広げたり深めたりする時間を設定する。
- (2)教師の指示や説明は簡潔にし、対話を重視しながら、多面的・多角的に考えさせる授業を心がける。
- (3)ICT等を使用し、視覚的に伝わりやすい提示の仕方を心がける。
- (4)視覚から入る情報を理解しやすい整然とした板書を心がけ、「聞く」「書く」のメリハリをつけた授業を実践する。

3 学習上の留意点

- ・ 学習用具の準備（教科書、ノート等）の徹底する。
- ・ 積極的に授業に参加し、毎授業に集中して取り組む。
- ・ 自分の考えを持ち、積極的に表現する。
- ・ 丁寧な文字を書くよう意識する。
- ・ 普段から書籍や新聞等の文章に触れる機会を多くつくる。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・ 基礎基本を身につけるためにスタディサプリを活用する。
- ・ 単元テストを繰り返し学習に活用する。
- ・ 読解力を身につけるために、読解練習の補助教材（読み方レスキュー）を活用する。
- ・ 読書（読書単元との関連）を自主的に取り組む。

5 単元テスト

- (1)授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題し定着を図る。
 - (2)単元テストや漢字テスト等の範囲は事前に伝え、定着を図るためテスト直しを実施する。
 - (3)高校入試や各種調査等で問われる「思考・判断・表現」を問う問題も含め出題する。
- ・ ※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみて評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるか。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を身につけ、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるか。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を身につけることができるか。
方法	授業中の言動や話し合いの活動の様子、自力解決時の様子、学習プリントの記述内容、学習の振り返りや自己評価等の記述内容、単元テスト、漢字テスト、観察		

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	【読む（詩）】 朝のリレー 【読む（物語）】 竜	単元テスト	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 ○音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。 ○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○単語の類別について理解している。 ○「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。
	5	○言語発見1 音声の仕組みとはたらき 【話す・聞く】グループディスカッション ○漢字を身につけよう①	漢字テスト	
	6	【読む（説明）】 ペンギンの防寒着 【読む（説明）】 クジラの飲み水 ○漢字のしくみ1 【書く】 レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる ○漢字を身につけよう②	ノート	
	7	【読む（物語）】 空中ブランコ乗りのキキ ○文法の窓1 言葉の単位・文節の関係 【読む（随筆）】 字のない葉書 【書く（随筆）】 体験に向き合い意味づける ○漢字のしくみ2 ○漢字を身につけよう③	ワークシート 振り返り パフォーマンス課題	
2 学期	8	【読む（説明）】 一〇〇〇円の価値を考える ○言葉発見2 接続する語句・指示する語句 【話す・聞く】 スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える ○漢字を身につけよう④		○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 ○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ○共通語と方言の果たす役割について理解している。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 ○「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。 ○「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。
	9	【読む（解説）】 月を思ふ心 【読む（古文）】 竹取物語 コラム「このあたり」ってどのあたり？ 【読む（漢文）】 故事成語——矛盾 ○漢字のしくみ3 コラム 漢字文化をアレンジする日本の力 ○漢字を身につけよう⑤		
	10	【書く】 行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える ○言葉発見3 方言と共通語 ○漢字を身につけよう⑥		
	11	【読む（詩）】 それだけでいい ○言葉発見4 比喩・倒置・反復・対句・体言止め 【書く（詩）】 思いや発見をリズムに乗せる 【読む（小説）】 トロッコ 【話す・聞く（読書活動）】 私が選ぶこの一文 ○漢字を身につけよう⑦		
3 学期	12			
		【読む（説明）】 意味と意図—コミュニケーションを考える 【書く（意見文）】 根拠を明確にして考えを述べる ○文法の窓2 単語の類別・品詞 ○漢字を身につけよう⑧ 【読む（小説）】 少年の日の思い出 ○漢字を身につけよう⑨ 【話す・聞く】【書く】 グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って		○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ○「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ○単語の類別について理解している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。（Aア） ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。